

2019年度
世 界 史
(問 題)

〈H31133416〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2~8ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべてH Bの黒鉛筆またはH Bのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	<input checked="" type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い
マークを消す時	<input type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄(2カ所)に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

万	千	百	十	一
(例) 3825番⇒	3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

貨幣経済の普及や遠隔地貿易の活発化などにより、11世紀から12世紀のヨーロッパにおいては商業と都市が発展した。遠隔地貿易は地中海商業圏から発展したが、東方貿易を独占した海港都市ヴェネツィアは、その繁栄から「A の女王」と呼ばれた。いくつかの内陸の都市も金融業や毛織物業で栄えるようになった。次いで、北海・バルト海でも交易がさかんになり北ヨーロッパ商業圏が成立した。リューベックやブレーメンなどの北ドイツ諸都市は海産物・木材・穀物などを取引した。また、フランドル地方は毛織物の生産や取引で繁栄した。これら南北の商業圏を結ぶ内陸の通商路に都市が発展し、プロヴァンやトロワなどがあるフランスのD 地方では大規模な定期市が開かれた。南ドイツのニュルンベルクやアウクスブルクも、イタリアとドイツの通商路の要衝として繁栄した。

このように商業が発展するなかで、11世紀から12世紀以降、中世都市は自治権を獲得し、自治都市になった。有力な都市は、北イタリアのロンバルディア同盟や、北ドイツのハンザ同盟のような都市同盟を結成し、共通の利益や特権を守り大きな政治勢力ともなった。こうした都市において自治運営の中心となった組織は、ギルドと呼ばれる同業組合であった。商業と都市が発展し貨幣経済が浸透するにつれて、農村にも大きな影響がおよび、14世紀頃から自給自足の封建社会のしくみは徐々にくずれていった。またこの時代に、気候の寒冷化にともなう凶作や飢饉、黒死病(ペスト)は都市のみならず、農村にも大きな被害をもたらし人口が激減した。労働力不足により領主に対する農民の立場が強くなり、農奴の解放が進んだ。特に貨幣地代が普及したイギリスでは、かつての農奴はJ と呼ばれる独立自営農民となった。こうした農民の地位向上と貨幣経済の進展による危機に対して、経済的に困窮した領主が再び農民への支配を強めようとした。農民たちはこれに対抗して各地で大規模な農民一揆を起こした。一方で、商業圏が拡大するにともない、都市の市民たちは市場を統一する政治権力の出現を望んでいた。そのため、国王は彼らと協力して諸侯の力をおさえ、L をめざすようになった。

問A A にはいる海域はどれか。

1. ティレニア海 2. イオニア海 3. アドリア海 4. エーゲ海

問B 下線部Bに関して、ロンバルディア同盟の中核となる都市はどこか。

1. ジエノヴァ 2. ナポリ 3. ミラノ 4. ピサ

問C 下線部Cに関して、この地方に含まれない今日の国はどれか。

1. ドイツ 2. オランダ 3. ベルギー 4. フランス

問D D にはいる地方の名前はどれか。

1. プロヴァンス 2. ブルターニュ 3. シャンパーニュ 4. ブルゴーニュ

問E 下線部Eを本拠地として、銀や銅鉱山の開発、銀行業によって15世紀から16世紀に大富豪となった財閥はどろか。

1. ハプスブルク家 2. メディチ家 3. ブルボン家 4. フッガー家

問F 下線部Fに関して、誤っている説明はどれか。

1. 都市の自治権の内容は、国や地域により多様であった。
2. 都市の周囲は一般に市壁（城壁）によって囲まれていた。
3. イタリア北部・中部の諸都市では、周辺農村領域との関係を断絶してコムーネが形成された。
4. ドイツの諸都市は、皇帝から特許状を得て自治権を獲得し、皇帝直属の帝国都市（自由都市）となった。

問G 下線部Gに関して、ハンザ同盟の商館が置かれたロシアの都市はどれか。

1. キヤフタ
2. ネルトリンゲン
3. ノヴゴロド
4. ナホトカ

問H 下線部Hに関して、正しい説明はどれか。

1. 「都市の空気は自由にする」と呼ばれたように、この組織で農奴が自由身分を獲得した。
2. 親方株が制限されたり、就業期間が終了した場合、職人たちちは遍歴をくりかえすこともあった。
3. 自由競争を促進し、お互いの利益を守った。
4. 大商人たちがツンフトを結成し、同職ギルドと争った。

問I 下線部Iに関して、誤っている説明はどれか。

1. ヨーロッパの人口の3分の1が失われたといわれる。
2. イスラム教徒が毒を井戸に投げ込んで、病気を広めたという噂が流れ、各地でイスラム教徒の虐殺が起こった。
3. 1348年頃から大流行した。
4. ネズミに寄生するノミや、シラミなどが感染拡大の原因として考えられている。

問J J にはいる語句はどれか。

1. ジェントリ
2. ブルジョワ
3. ヨーマン
4. エスクワイア

問K 下線部Kに関して、「アダムが耕しイヴが紡いだとき、だれが貴族であったか」と最初に説いて、身分制度を批判したのは誰か。

1. ジャックリー
2. ワット＝タイラー
3. リチャード2世
4. ジョン＝ボール

問L L にはいる語句はどれか。

1. 地方分権
2. 中央集権
3. 資本主義社会
4. 領主制

Ⅱ 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

前近代において、現在の中華人民共和国の内モンゴル自治区、山西省、陝西省、甘肃省などの一帯は、モンゴル高原や中国東北部を拠点とする遊牧国家と、その南に位置する「中国」諸王朝との間の境界地帯を形成していた。A漢王朝とほぼ同時に勃興した匈奴に対して、前者の初代皇帝高祖B劉邦は戦いを挑むが、白登山（現在のC山西省大同市付近）で敗北した。西晋の滅亡後、鮮卑の拓跋氏はD北魏を建国して平城（現在の山西省大同市）を都とし、やがて華北を統一する。唐の支配下では、北方への備えとして、この地域には複数のEが任命されたが、のちに管轄地域の民政・財政をも掌握してFと呼ばれ、中央政府からの独立傾向を明らかにした。11世紀初頭、契丹が建てた遼と、五代十国の大部分を統合した北宋の間で結ばれた澶淵の盟は、その後1世紀にわたってこの地域を両国の間での境界地帯とした。モンゴル帝国によるモンゴル高原と「中国」の統合を経て、明代には再び軍事的緊張がこの地域を覆うようになる。1449年には、トクトア＝ブハ＝ハーンとともにHが率いたモンゴル勢力が明朝に侵入し、土木堡において明の正統帝を捕虜とした。そのおよそ1世紀後には、Iがモンゴル勢力を再び統合し、明の首都北京を包囲している。続く清朝はJモンゴル・青海・チベット・新疆の統治を統括するL理藩院を設置し、この際の行政区分が現在の中華人民共和国における省・自治区の境界に大きな影響を与えた。

問A 下線部Aについて、この王朝の政策ではないものを一つ選べ。

1. 五経博士が置かれた。
2. 五銖錢を鋳造した。
3. 地方官の推薦による官吏登用法（郷挙里選）を行ったが、やがて推薦過程への豪族の介入が著しくなると、九品中正により中央政府の主導権を取り戻そうとした。
4. 豪族による大土地所有を制限するため、その土地・奴隸の所有に上限を定める限田策を行った。

問B 下線部Bについて、正しい説明はどれか。

1. 支配者である可汗は代々漢王朝から妻を迎えた。
2. 鮮卑を攻撃してアム川上流域に追いやった。
3. 前2世紀に東西に分裂した。
4. 東胡を服属させ、モンゴル高原東部から中国東北部までをその勢力下に置いた。

問C 下線部Cについて、この人物が行ったこととして正しいものを一つ選べ。

1. 朝鮮四郡を設置し、匈奴をけん制した。
2. 郡国制から郡県制への事実上の移行を推進した。
3. 国家の収入の増大をはかり、均輸を施行した。
4. 朝廷の直轄地域以外の地域で封建制を復活させた。

問D 下線部Dについて、この王朝によって初めて施行された政策を一つ選べ。

1. 地丁銀制
2. 三長制
3. 里甲制
4. 屯田制

問E Eにはいる語句はどれか。

1. 転運使
2. 節度使
3. 御史
4. 市舶使

問F Fにはいる語句はどれか。

1. 豪族
2. 藩鎮
3. 門閥貴族
4. 都護府

問G この境界地帯において、936年に遼がある国家から割譲を受けて支配した、現在の北京・大同などを含む地域は「燕雲十六州」と総称される。ある国家として正しいものを一つ選べ。

1. 後晋
2. 後唐
3. 後周
4. 北漢

問H Hについて、この人物はつぎのうちどれか。

1. モンケ=ハン
2. アルタン=ハン
3. オゴタイ
4. エセン=ハン

問I Iについて、この人物はつぎのうちどれか。

1. エセン=ハン
2. ハイドゥ
3. モンケ=ハン
4. アルタン=ハン

問J 下線部Jを行った人物は、明に軍事行動を行うのと同時に、国境を越えて逃亡してきた明の人々を保護し、中國風の城郭都市を建設してそこに居住させた。下の4つの都市のうち、この時代のこうした城郭都市に起源を持つものを一つ選べ。

1. ハルビン
2. ウランバートル
3. フフホト
4. ウルムチ

問K 下線部Kにつき、清朝の藩部に編入されたのが最も遅い地域はどれか。

1. 新疆
2. チベット
3. モンゴル
4. 青海

問L 下線部Lについて、その説明として正しいものを一つ選べ。

1. 理藩院は、ジュンガル部の指導者ガルダンに対する勝利を契機として創設された。
2. 19世紀後半には、西欧列強などとの外交交渉をも担当するようになり、総理衙門と改称された。
3. ネルチンスク条約の締結を含むロシアとの外交も管轄に含まれていた。
4. その前身は、軍事遠征に際しての軍事機密の保持を目的に創設された軍機處である。

III 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

これまでの歴史の中では、経済的な発展が一定の階層の者たちによる奴隸などの階層の者たちに対する虐待や搾取などから成り立っていたということがくりかえしみられてきた。今日、世界経済を牽引しているアメリカにおいても、その歴史の中で同様の現象がくりかえしみられてきている。

アメリカでは、植民地時代から一部の白人入植者らによる搾取行為がみられていたし、A アメリカ合衆国の独立や南北戦争などを経た19世紀後半以降も、B D 人、ユダヤ人、E 人などの移民が都市や工場において低賃金で労働に従事するなど、同様の状況がみられていた。F 1920年代には、好調な経済、大量生産・大量消費社会の下で、いわゆる中間層は経済的な繁栄を謳歌したが、G ウォール街での株価暴落に端を発する世界恐慌により、そうした時代も終焉を迎えた。

H 第二次世界大戦の後も、いわゆる貧困層や黒人が虐げられる時代が長く続いた。I 公民権運動などを経て、人種による差別などは表面的には減少したものの、20世紀後半以降も、J 製造業の衰退、K 金融業やL IT産業の隆盛、より近年でいえば、A I (人工知能)に関する技術の進展などによる経済や社会の大幅な変化に伴い、富める者とそうでない者、さらには地域間での格差はより一層の拡大傾向にある。

問A 下線部Aに関連して、古代ローマにおける奴隸に関する記述として誤っているものはどれか。

1. 平民派の指導者となったマリウスはもともと奴隸出身であった。
2. いわゆるラティンディウムのもとで、ブドウやオリーブなどの生産に従事した。
3. 前2世紀後半にシチリアにおいて2度の反乱を起こした。
4. コロッセウムなどで開かれた闘技会で戦った剣闘士の多くは奴隸であった。

問B 下線部Bに関連して、ヴァージニア植民地において、とくに17世紀の後半以降にタバコの生産における主要な労働力となっていったのはどれか。

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 北米大陸における先住民 | 2. 黒人奴隸 |
| 3. 白人年季奉公人 | 4. 西インド諸島出身のインディアン |

問C 下線部Cに関連して、独立宣言およびその起草に関わったトマス＝ジェファーソンに関する記述として誤っているものはどれか。

1. トマス＝ジェファーソンが起草した独立宣言の草稿の中には、奴隸制を強く批判する内容が含まれていた。
2. トマス＝ジェファーソンの大統領在任中に、アメリカ合衆国連邦裁判所における違憲立法審査権を確立したとされるマーベリー対マディソン事件が起こった。
3. トマス＝ジェファーソンは、ヴァージニアの古い入植者の家系に生まれ、広い農園と奴隸を相続していた。
4. 最終的な独立宣言は、白人はもちろん、黒人および女性を含む全ての人が平等であり、それら全ての人が等しく生命、自由および幸福の追求に関して、奪うことのできない権利が与えられていることを文言上明らかにした。

問D D にはいる国は、1920年に起こった強盗殺人に関するえん罪事件において犯人とされ、死刑に処された者ら、すなわち製靴工場の職人であったニコラ＝サッコと魚の行商人であったバルトロメオ＝ヴァンゼッティの出身国である。その国はどれか。

1. イタリア
2. スロベニア
3. スペイン
4. ギリシャ

問E E にはいる国に関して、現在、イギリスに移り住んでいる外国籍の移民の中では、同国の出身者が最も多い状況となっている。その国はどれか。

1. アイルランド
2. インド
3. ポーランド
4. ルーマニア

問F 下線部Fに関連して、アメリカの1920年代の出来事に関する記述として誤っているものはどれか。

1. 商業的長編映画としてのトーキー映画が公開された。
2. ベーブ＝ルースがシーズン60本塁打というそれまでのシーズン最多本塁打記録を作った。
3. テネシー川流域開発公社が多目的ダムを建設し、同流域に水力発電による電力を供給した。
4. ラジオ放送が開始された。

問G 下線部Gに関連して、ウォール街が位置するニューヨークに関する記述として誤っているものはどれか。

1. 1914年、連邦準備制度の下で第2区を管轄する連邦準備銀行が設立された。
2. もともとはオランダ西インド会社によって1620年代中盤頃から本格的な植民が開始された都市であった。
3. 2011年に富裕層が保有する資産の多さや金融機関の救済政策などを批判する大規模なデモや運動が起こった。
4. 1920年に発足した国際連盟の本部が置かれた。

問H 下線部Hに関連して、同大戦期間中には、各地で日本の植民地支配や軍事占領に反抗し、抗日・反日闘争を行うに至った組織・団体・戦線などがみられた。それらに該当しないものはどれか。

1. ベトナム独立同盟（ベトミン）
2. ラオス愛国戦線
3. 東北抗日聯軍
4. フクバラハップ

問I 下線部Iに関連して、1964年に成立した公民権法が定めていた内容として誤っているものはどれか。

1. 黒人高齢者に対する医療費の補助
2. 公共施設における人種差別・分離の禁止
3. 投票適格者を認定する際の人種差別の禁止
4. 雇用における人種差別の禁止

問J 下線部Jに関連して、フォード・モーター社がフォード・モデルTの生産ための工場を建設したことなどをきっかけとして自動車産業が発達したものの、2009年にゼネラルモーターズが倒産したことなどにより、同産業の衰退がみられている都市はどれか。

1. ロサンゼルス
2. デトロイト
3. ヒューストン
4. シカゴ

問K 下線部Kに関連して、1997年にアメリカおよびヨーロッパのヘッジファンドが短期資金を過剰に流入させたり、通貨の空売りを行ったことによって起こったアジア通貨危機の際、経済的な危機は生じたものの、IMFの緊急支援を受けることはなかった国はどれか。

1. 韓国
2. インドネシア
3. マレーシア
4. タイ

問L 下線部Lに関連して、IT技術の発展、とくにソーシャルネットワークサービスやスマートフォンの普及は、2010年にはじまったアラブ諸国における民主化運動（アラブの春）の大きな要因にもなり、いくつかの国では当時の政権の打倒に結実した。次のうち、アラブの春の際に政権の打倒にまで至らなかつた国はどれか。

1. チュニジア
2. リビア
3. サウジアラビア
4. エジプト

IV 次の文章を読み、空欄 [1] から [13] は、記述解答用紙の所定欄に適切な語句を記入せよ。下線部14は、その背景・内容と日本への影響について100字以内で説明せよ。なお、句読点・算用数字も1字とする。

貨幣の铸造には強大な国家権力が関わっていた。紀元前6世紀から5世紀にかけて在位したアケメネス朝の王 [1] が金銀の金属貨幣を铸造した。新約聖書に登場するデナリオン銀貨は歴代ローマ皇帝の下でしばしば改鑄され、3世紀後半に即位して專制君主制を敷いた [2] 帝の時代まで铸造されていたといわれる。東アジアに大きな影響を与えた [3] 通宝は、鄭和の艦隊を派遣した明の皇帝の年号を冠していた。

他方で、貨幣の流通は必ずしも国家の意向通りには進まず、グローバルな貿易の流れに左右された。16世紀に発見された [4] で産出された銀はヨーロッパに大量に持ち込まれ、[5] と呼ばれる物価騰貴をひきおこして領主層の没落などの社会変動をみちびいた。オーストリア大公としてヨーゼフ2世とともに第一回ポーランド分割にもかかわった皇帝 [6] の像を刻んだ銀貨は、ムッソリーニ政権が併合した東アフリカの [7] などで20世紀にいたるまで交易ネットワークに沿って流通していたことが知られている。

各国で発券銀行・中央銀行が形成されてくると金銀の铸造貨に代わって銀行券が流通にあらわれてくる。名誉革命後の1694年に創設された [8] は19世紀半ばには同国内で唯一、銀行券を発行できる銀行となった。中央銀行は資本主義の発展に寄与したが、物価や景気を常にコントロールできたわけではない。その顕著な例が第一次大戦後のドイツにおける天文学的なインフレーションである。このインフレーションは [9] と呼ばれる銀行券の発行で収拾されたが、この銀行券は中央銀行とはひとまず別の銀行が発行したものであった。

世界恐慌のちには多くの国で銀行券の発行を貴金属の準備から切り離して、景気対策を推進するようになった。イギリスでは1931年に [10] 内閣が金本位制を停止した。金ブロックの中心国 [11] も1936年後半以降に金本位から離脱した。1944年に締結された [12] はドルと金の交換比率を定めた国際通貨体制を構築したが、1971年のドル・ショック以降、金とドルのつながりは断ち切られ、多くの国が自国通貨と外貨との交換比率を市場にゆだねる [13] に移行した。しかしながら、この制度によっても為替相場の調整はしばしば国家間の調整を待つこととなり、1985年の先進5カ国財務相・中央銀行総裁会議におけるプラザ合意など、国家間の為替取り決めがくりかえされている。歴史上、権力と市場のあいだを揺れ動いてきた貨幣は、21世紀にはリーマン・ショックなど、度重なる世界金融危機の主役にもなっている。

[以下余白]





